

「去年と同じ事をするから失敗する。去年と同じ事をしないから失敗する」

酪農家として仕事をしている事で、良いと思われることは毎年、毎月、毎日継続して確実に言い、悪いと思われたことは直ちに辞めることを言います。漫然と昨年と同じ事を繰り返しては、酪農場の進歩はなく、普段何気なくやっている事でも、もう一度冷静にその作業の良否を見直す必要があります。

乳房炎が多く発症しているのに、いつまでも我が家の伝統のように搾乳作業を変更しない。乳房炎が多く発症する原因は何であろうか？よく判らないかもしれない、しかし今の状況ではよいとは言えない。それであれば、ひとつひとつの作業を全て点検しなければいけない。そのなかで、継続して良い事、悪い事を判断するべきだ。

搾乳作業を決して変えようとしなない祖父がいた。かたくなに今までの作業を変えようとはしない。俺はこれで何十年もやってきたプライドが許さないのかもしれない。

丁度祖父が入院をした。これを機会に若夫婦が搾乳作業を変更した。退院してきた祖父はそれを見て、搾乳作業から足を洗った。結果、良くなった事は言うまでもない。

同じように搾乳指導に出かけた。そこでの祖父との一コマ。

「俺は何でお金まで払って、お前に怒られなければいけない。」

「いやいや、たまには若い者の言う事も聞いてご覧。もっと楽に搾乳は出来るものさ。お湯など使う必要はない。」

1ヶ月後再度訪問すると、祖父は教えたように搾乳作業をしていた。何故？と聞くと、楽になったからとの返事。元に戻しますかと聞くと、これで良いとの返事。人の意見は聞いてみるもの。

搾乳作業は1年に1回はチェックが必要です。次第に変化して、1年もたつと全く変わった作業をしている事が多くあります。そのために、常にビデオ撮影をしておき、昨年と今年の比較などをすると、何が変わったかを見る事ができます。記録は何でも大事です。

作業内容、手順を変更することは、一向にかまわない。しかし、それが良いのか悪いのかを判断する事をしないと、又同じ事を繰り返す事になる。変更はひとつにとどめて、その結果を検証しながら、継続すべき事か否かを判断しなければいけない。これが出来ない事が多い。これをしっかりと行わないと、失敗を継続したりするし、翌年には忘れていてもとに戻る事がある。



バルク乳の温度記録用紙。

毎日の作業の中に組み入れ、常にバルク温度の記録をする。これによりバルククーラーの冷却能力の変化が見て取れる。細菌数を低く安定させるための、低コストの一手段である。